

令和2年度

〔令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日〕

事業計画書

更生保護法人 山梨県更生保護協会

1 運営に関する基本方針

令和2年度は、東京オリンピック・パラリンピックの開催の年となる。

県民が、犯罪による被害を受けることを防止して、安全で安心して暮らせる社会の実現を図るため、再犯防止対策が必要不可欠である。検挙者に占める再犯者の比率（再犯者率）の割合は上昇を続けている。また、高齢犯罪者の再犯問題も深刻化している。このため、安全・安心な社会を実現するためには、再犯防止対策が必要・不可欠であることから、国及び地方公共団体にも再犯防止施策を実施する責務があることが明記され、地域住民の理解・協力を得ること等から、関係機関と連携して再非行防止と改善更生のため、一層の連携・協力が大きな課題となっている。

山梨県更生保護協会は、定款第4条の定めるところに従って、県下の更生保護諸活動に対する連絡助成事業及び一時保護事業を効果的に推進するために、更生保護制度の根幹である官民協働態勢を確立し、「立ち直り」を支える社会を実現し、県民の安全・安心な社会の実現に向けた認識を共有し、次に掲げる事業を行う。

2 運営に関する事項

(1) 役員会の開催

ア 理事会・評議員会の開催（年2回）

イ 常務理事会の開催（年2回）

(2) 財政基盤の強化

更生保護関係団体・組織等の協力を得て、賛助会員・篤志家発掘など自主財源の確保に努める。

(3) 事業内容の拡充

更生保護関係機関・団体との相互理解と連携を図り、更生保護事業に係る各施策が円滑に推進するよう努める。

(4) 県民の協力を得るための活動の推進

安全・安心で住みよい郷土山梨県を築くために、更生保護事業の一層の普及を図り、広く県民の理解を高めるための促進を図る。

3 事業の実施に関する事項

(1) 連絡助成事業

ア 広報活動の充実

- ・ 啓発活動を効果的に推進するため、各種広告媒体等を活用して積極的な広報活動を推進する。
- ・ 広報用カレンダーを作成して、県下の小・中学校約280校に配布する。

- イ 犯罪・非行防止活動の推進
“第70回社会を明るくする運動”山梨県推進委員会の構成団体として、関係機関・団体と協力して世論の普及啓発に努める。
- ウ 更生保護法人山梨以徳会に対する支援
山梨以徳会の施設全面改築に伴い「運用積立金」より500万円を助成
- エ 更生保護関係団体に対する助成
- ① 山梨県保護司会連合会・13保護区保護司会
 - ② 山梨県更生保護女性連盟・18地区更生保護女性会
 - ③ 山梨県BBS連盟
 - ④ NPO法人山梨県就労支援事業者機構地区会
- オ 更生保護サポートセンターに対する助成
各保護区更生保護サポートセンターの活動に対する支援
- カ 機関紙の発行
更生保護の啓発及び情報等の交換を促進するため、山梨県保護司会連合会と共同により機関紙「更生保護やまなし」を年3回発行する。
- キ 第63回山梨県更生保護大会の共催
第63回山梨県更生保護大会を甲府保護観察所及び更生保護関係団体と協力して、その円滑な開催を図る。
開催日時 : 令和2年11月11日(水)
場 所 : 甲斐市「双葉ふれあい文化館」
- ク 関係機関・団体との連携
甲府保護観察所と連携し、関係機関・団体の理解と協力を得て、各種協議会等の開催に参加・協力する。
- ケ 更生保護制度施行70周年記念誌の発行準備
「山梨県更生保護70周年誌」の発行のため、関係資料の収集を行う。

(2) 一時保護事業

- ア 保護観察対象者及び更生緊急保護対象者等に対する一時保護事業(金品の給与)を推進する。
- イ NPO法人全国就労支援事業者機構が行う「身元保証システム」の事務委託に協力する。

4 その他

- ・当法人に対する功労者の顕彰
- ・役職員に対する慶弔の実施
- ・当協会の目的を達成するために必要な事業